

キャラクター名 レヴェリー	プレイヤー名
------------------	--------

種族	レプラカーン	種族特徴	暗視、見えざる手、姿なき職人		
生まれ	魔動機師	性別	女	年齢	15歳ぐらい
冒険者Lv	8	経歴	知り合いに生き返った人がいる		
経験点	580		愛読書を持ち歩いている (いた) 本から大きな影響を受けた事がある		

技	Lv	能力値				Lv.	技	Lv.
		A-F	成長	他修正	ボーナス			
器用度	9	5			26 + 2	4	シューター	8
	敏捷度	5	3		20 + 1	3	プリースト/ル・ロウド	2
筋力	8				12	2	マジテック	5
	生命力	7	4		15	2	スカウト	5
知力	11	3			21	3	エンハンサー	1
	精神力	10	3		20	3		

戦闘特技				言語			会話	読文
トレジャーハント	2120p		p	交易共通語	○	○		
ターゲットィング	1-280p		p	魔動機文明語	○	○		
魔法収束	1-291p		p	手旗信号	○	○		
魔法制御	1-291p		p					
射手の体術	2-227p		p					
			p					
			p					
			p					
			p					
			p					

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ		

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	8	12	11	10

必要ランク	必要値			
	筋力	回避力	防護点	
鎧	コンバットメイドスーツ		10	1
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	シューター		合計値	12 0

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12																
								3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
デリンジャー <small>射程10m,装填数2 ※ルールブックの筋力による上位武器の装備ルールにより使用</small>	1H	11	1	2d+ 13	10	8																		
サーペンタインガン <small>射程10m,装填数3 ※拾いもの。</small>	1H	1		2d+ 12	11	8																		
ジェザイル <small>射程50m,装填数3,ダメージ+1</small>	2H	10		2d+ 12	10	9																		
《パレンタイン》 <small>射程50m,装填数3,ダメージ+1</small>	1H	11	2	2d+ 15	10	9																		
				2d+																				
				2d+																				
				2d+																				

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	21 m	63 m	2d+ 12	0	34

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 8	2d+ 10	2d+ 11	44

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	2	5			
魔動機術	5	8			

装備品	説明
頭 マグスフィア (小)	タゲサOP
耳 聖印	ル・ロウド
顔 不敵の仮面	HP0以下から1以上に回復する時追加でHP10回復
首 奇跡の首飾り	破壊することで生死判定をやり直せる
背中 マグスフィア (大)	エフェル、クロダ、ショットガンOP 個数・金額はアイテム欄で管理
右手 巧みの指輪	
腰 多機能ガンベルト	ロッセリーニの魔法印が描かれている
足 立ち寝のレギンス	睡眠や気絶で転倒しない。※他の効果では転倒する
その他血水晶のチョーカー	

装備品	説明
左手 巧みの指輪	
血晶石の腹帯	自身への通常ダメージの10分の1(切り上げ)のMPを手番終了まで溜め込み使用可能。
俊足の指輪	

— その他メモ —		自動失敗
一般技能 薬剤師/ドラッグメイカー5、(蒸留)酒造家/ディスティラー4、馬具職人/ローリマー1		チェック
フルネームはレヴェリー・ホワイト		□□□□⑤
とある薬屋兼酒屋の地下室に住み着いたレプラカーン家庭に生まれた少女		□□□□⑩
昼は外へ魔動機文明の遺跡の探索に、夜はこっそり家主のお仕事のお手伝いをする生活		□□□□⑮
両親から愛され、家主の一家からも(認識されないながらも)大切にされるものどどこか物足りない日々		□□□□⑳
		□□□□㉒
転機となったのはお礼として置かれていた一冊の本		□□□□㉔
それは生まれ育ったこの地では絶対に見られない海、そこを征く船乗りたちの物語		□□□□㉖
喜びも悲しみも、出会いも別れもすべて飲み込んで旅する彼らは正しく冒険者だった		□□□□㉘
		□□□□㉚

